

平成 17 年度日本看護系大学協議会総会 議事要旨（案）

このホームページをご覧になれる前に必ずお読み下さい。

この総会議事要旨は平成 17 年 5 月 13 日についての(案)段階のものです。平成 18 年度の総会で承認されれば決定内容となります。しかし、総会に参加できる人数を制限しておりますので、その他の方々にもできるだけ早くご覧いただきたいと思っております。動向把握をされ、教育運営等にお役に立てていただければと役員会での検討済みのものを(案)のままホームページに公開することに致します。決定事項でないものが含まれておりますが、この主旨をご理解の上、総会議事要旨の取り扱いにご注意いただき、ご参考にしていただけますように、何卒よろしくお願い申し上げます。

日 時：平成 17 年 5 月 13 日（金）13：30～16：10

場 所：千葉大学けやき会館

出席者：会員校代表 116 名（同行者 52 名） 別紙名簿
（以下敬称略）

記録：千葉大学看護学部 鈴木

- 配布資料：
1. 平成 17 年度入会校一覧
 2. 国・公・私立看護系大学一覧（平成 17 年度）
 3. 日本看護系大学協議会 平成 17 年度役員一覧
 4. 平成 16 年度日本看護系大学協議会役員会報告
 5. 平成 16 年度日本看護系大学協議会総会 議事要旨（案）
 6. 日本看護系大学協議会平成 16 年度決算・監査報告
 7. 専門看護師教育課程への在宅看護分野の新設について
 8. 平成 17 年度事業活動計画
 9. 看護系大学の教育等に関する実態調査データベース作成へのご協力依頼
 10. 日本看護系大学協議会 平成 17 年度予算（案）
 11. 会費の納入について

配布冊子：平成 16 年度事業活動報告書
平成 16 年度看護実践能力検討委員会報告

1. 会長挨拶 (石垣)
2. 平成 17 年度新会員校 (石垣)
資料 1 に基づき、平成 17 年度新入会校 6 校、名称変更 3 校を紹介した。
3. 国・公・私立看護系大学一覧（平成 17 年度） (石垣)
資料 2 に基づき国立 42 校、公立 41 校、私立 44 校であることを紹介した。
4. 平成 17 年度役員 (石垣)
資料 3 に基づき、会長、副会長、幹事 7 名、監事 2 名を紹介した。

5. 議事

【報告事項】

- 1) 平成 17 年度会費納入状況について (石垣)

現在までに、郵便振替で 21 校、銀行振込で 2 校、計 23 校より納入されている。銀行振込の希望が多かったため、口座を開設したので、口座番号等を最後に紹介する。期限内納入を依頼した。

- 2) 平成 17 年度名簿について (石垣)
16 校が名簿未提出である。届きしだい作成し配布する。
個人情報保護法の施行に伴い、2 校から問い合わせを受けたため、役員会で検討した。
現在、名簿に掲載している内容は、個人情報保護法で規定する保護の対象になる個人情報ではないという見解であった。

- 3) 平成 16 年度活動報告 (石垣)
(1) 平成 16 年度役員会
資料 4 のとおり、5 回役員会を開催したことを報告した。
(2) 平成 16 年度事業活動報告
配布冊子、平成 16 年度事業活動報告書により各担当役員が報告した。

< 常設委員会 >

- 専門看護師教育認定委員会** (野嶋)
事業活動報告書 P. 1~6 に基づき報告した。
・認定審査料の見直しについて検討したが、会議の開催回数 3 回を 2 回に減らすことで経費削減に対応した。今後、さらに検討が必要である。
・専門看護師教育課程認定に関する平成 17 年度の相談業務として、午前中に説明会を開催した。72 校 125 名の参加があった。
- 高等教育行政対策委員会** (石垣)
事業活動報告書 P. 7~14 に基づき報告した。
・昨年度、専門職大学院の申請はなかった。
- ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会** (中山)
事業活動報告書 P. 15~22 に基づき報告した。
- 看護学教育研究倫理検討委員会** (稲垣)
事業活動報告書 P. 23~31 に基づき報告した。
- 広報・出版委員会** (石垣)
事業活動報告書 P. 33~36 に基づき報告した。
・ロゴマークは、単色とカラーのものがある。カラーのものはシールとして資料とともに今回、配布した。様々に活用してほしい。
・出版物は、未完成であり、表紙と「はしがき」のみ資料(資料 4 1)として配布した。主な内容は、P. 33 の(2)の通りである。販売価格は、3,000 円の予定である。

< 臨時委員会 >

- 看護教育質向上委員会** (草間)
事業活動報告書 P. 37~77 に基づき報告した。
・認証評価のシステムを検討することを目的とした。
・実態調査は、116 校を対象として実施し、78 校から回答が得られた。ご協力いただき感謝している。
- 看護実践能力検討委員会** (野口)
事業活動報告 P. 79、別添冊子委員会報告に基づき報告した。
・全国を 6 ブロックに分け、検討会を行い、その成果を報告書としてまとめた。活用いただければ幸いである。報告書は、平成 16 年度木村看護教育振興財団の助成を受け発行した。
・個人情報取り扱いに関するガイドラインに盛り込むべき内容を、ホームページで配信した。
・冊子については、今後各会員校に各 10 冊送付予定である。
- 看護管理コース教育検討委員会** (藤村)
事業活動報告書 P. 81~83 に基づき報告した。
- 看護専門職大学院検討委員会** (南)
事業活動報告書 P. 85~126 に基づき報告した。
・P86 からの設置基準案は、別刷りにして文科省等に配布、提案していく予定である。

(3) データベース整備について (石垣)
事業活動報告書 P.127～216 に、1999～2003 年分の分析結果を載せている。調査協力いただいた大学は、P.140～144 に掲載している。結果は、ぜひ参考にしてほしい。

4) 看護学教育における認証評価について (草間)
事業活動報告書 P.39～42 に基づき、認証評価について説明した。本協議会に加入している全ての大学・学部・学科・専攻が標準的評価を受けられるような制度を構築するように文部科学省に、要望書を提出したことを報告した。

【報告事項に関する質疑応答】

発言：看護専門職大学院のところで、Advanced Nurse Practitioner という名称が出てきたが、具体的にイメージできない。(産業医科大学 石原)

答：今後の議論の参考にしていきたい。(南)

発言：保健師教育については、OJT でやっていくという結論なのか？ また、専門職大学院とのつながりがあるのか？ (琉球大学 宇座)

答：保健師教育について、高等教育行政対策委員会で検討したが、まだ充分ではないので、結論はでていない。職場に入ってからという考え方がひとつあるというところで留まっている。継続して検討していく予定である。専門職大学院については議論していない。あくまでも 4 年制の教育課程を念頭においた検討であった。(石垣)

保助看の基礎教育としての考え方であり、さらに高度なものは専門職大学院で養成すること、が前提である。専門職大学院は、免許につながるものではない。(南)

発言：中教審で、大学全体の中での助手の位置づけについて検討されている。どこかに含まれてくるのか？ (神戸市看護大学 高田)

答：高等教育行政対策委員会のなかで検討していきたい。検討してほしい課題を出してもらい、検討を重ね、必要なものを対外的に発信していきたい。(草間)

発言：教員の削減の問題がある。標準教員数の検討が必要ではないか。(香川大学 猪下)

答：どこかでしっかり受け止めたいと思う。(石垣)

大変重要なことだと思う。高等教育行政対策委員会の中で検討を重ねていきたい。また、必要な場合は、要望書を提出していきたい。(草間)

発言：全学で自己点検評価の項目作成を行っているが、技術者教育を行うための定員数が考えられていない。(島根大学 佐々木)

答：看護独自の評価項目を考えていくことも必要と考える。(石垣)

【審議事項】

1) 平成 16 年度総会議事要旨(案)について (石垣)

資料 5 に基づき報告。案の段階でホームページに掲載している。

質疑なく、承認された。

2) 平成 16 年度決算・監査報告 (松岡、野口)

資料 6 に基づき、昨年度事務局会計担当より決算報告、監事より監査報告。

質疑なく、採決において、出席 116 校中 111 校の賛同により承認された。

3) 専門看護師教育課程への在宅看護分野新設について (野嶋)

4) 在宅看護分野新設に伴う経過措置について (野嶋)

・昨年までホームケア看護としていたものを、「在宅看護」という名称にした。

・資料 7 に基づき、在宅看護専攻教育課程(案)、審査基準(案)を説明。地域看護専攻教育課程(新)、審査基準(新)の再提示。経過措置についての説明。

【審議事項に関する質疑応答】

発言：在宅看護専攻教育課程(案)の実習単位が 4 単位、2 単位で、合計 6 単位となったのは、どのような考えからか？ (兵庫県立大学 片田)

答：実践能力に長けていることと管理・運営ができること両方が必要であるので、明記することが大切と考えた。単位数の考え方全体に影響するなら、検討も必要と思われる。(川越)

- 発言：4単位でいいのか？ 6単位以上となっていたと思う。 (兵庫県立大学 片田)
答：表示の仕方を工夫したい。 (野嶋)
検討してみて、表現を変えるか、そのままかこちらに任せてもらってはどうか。
(石垣)

採決の結果承認多数により、承認された。

- 5)平成17年度事業活動計画について
資料8に基づき、各委員長より説明された。

<常設委員会>

専門看護師教育認定委員会 (野嶋)

- ・平成17年度版要項は、会員校に各3冊、5月中に発送する。
- ・申請受付期間は、7月1日から7月31日である。

高等教育行政対策委員会 (草間)

- ・教員配置のあり方も検討していきたい。

ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会 (高橋)

看護学教育研究倫理検討委員会 (稲垣)

広報・出版委員会 (石垣)

- ・毎年リーフレット発行をしていたが、今年は、ホームページを活用し、英語版も作成することとし、リーフレット作成は行わない。

役員推薦委員会 (草間)

<臨時委員会>

看護実践能力検討委員会 (中山)

- ・平成16年度報告書では、各大学の取り組みが把握できるようになっている。1)に重点をおいた活動の予定である。

看護管理コース教育検討委員会 (井部)

- ・構成メンバーは、候補者が28名おり、その中から7~8名に限定する予定であり、5月中には決定する。
- ・看護管理開設校のヒヤリングなどを行い、できるだけ多くの方からの意見をいただいて進めたい。

高度実践看護師制度推進委員会 (南)
(資料の委員会名の訂正)

看護学教育評価機関検討委員会 (村嶋)

以上、平成17年度事業活動計画については質疑なく、承認された。

- 6)データベース整備について (石垣)
資料9に基づき、データベース作成への協力依頼した。

- 7)平成17年度予算案について (吉本)
資料10に基づき説明した。

質疑なく、採決において、出席116校中110校の賛同により承認された。

- 8)その他
連絡事項 (石垣)
・会費納入の銀行口座のお知らせを資料11として配布したことを連絡した。